※令和３年度以前入学生用

学校番号	３１７

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「政治・経済」（東京書籍）						
副教材等	「テーマ別資料政治・経済」（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の政治、経済、国際関係などについて、客観的広い視野をもって社会をみつめよう。
世の中を知るために新聞を読もう。

２　学習の到達目標

民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めさせる。そのために現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に理解するとともに，現実の情勢を主体的に探究する態度を身につけさせる。具体的には、日本国憲法の基本原理，日本の政治機構などについて理解し，現代の政治の諸課題について考察を深める。「法の支配」の意義について理解を深めるとともに，現実の社会における法の機能について学び，国民の司法参加の意義や課題について考察する。現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに，国民経済の動向および，政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察する。国際社会の現状と諸課題について理解し，国際社会に生きる日本の役割について考察する。以上の理解や考察を踏まえて，現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い，良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけさせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
趣旨	民主主義の基本原理に関心を持ったうえで、日本国憲法の基本原理、日本の統治機構の仕組み、現代の国際政治の動向に対して関心を持ち、意欲的に課題を追究しようとしている。また経済的な諸事象に関しても関心を持ち、意欲的に考えようしている。特にグローバル化が進む国際経済において、その動向や日本の役割について意欲的に追求しようとしている。	民主主義の基本原理の意義について理解したうえで、世界の政治体制の在り方、日本の統治機構の課題などを多面的に考察している。また、１８歳選挙権の観点から、現代政治に対する自らの考えを構築し、あるべき政治参加について自らの考えを表現している。経済的な課題についても、日本の役割を理解したうえで全体像を把握したうえで自らの考えを表現している。	現代の政治経済の課題を、様々なメディアを利用して資料を収集している。特に新聞記事などを利用活用している。特に現代経済については最新の資料を収集し、活用している。	民主主義の基本原理の特徴や課題を理解し、基本的な知識を身についている。さらに統治機構については、憲法に沿って課題を含め理解し知識を身に着けている。経済の問題についてはグローバル化の観点から基本的事項を理解し、知識を身に着けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・レポート作成 ・提出課題	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・レポート作成 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・小テスト ・レポート作成 ・提出課題 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1章　現代の政治	①民主政治の成立 ②法の支配 ③基本的人権の確立 ④現代の民主政治 ⑤世界の主な政治体制 ⑥日本国憲法の制定と基本原理 ⑦基本的人権の保障 ⑧平和主義 ⑨国会と立法 ⑩内閣と行政 ⑪裁判所と司法 ⑫地方自治 ⑬戦後政治と政党 ⑭選挙と政治意識 ⑮世論と政治参加	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 民主政治の本質を把握しながら，政治と私たちとの関わりについて理解しようとしている。 b:・基本的人権が確立するまでの歩みや日本国憲法の成立過程を理解しながら，現代の政治の特質について考察している。 ・自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し，民主主義についても考察する。 ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について，問題点も含め，幅広い視点から考察する。 c: 各国の状況をインターネットや書籍を利用して調査している。 ・人権に関する判例を活用しながら，権利と義務などについて理解する。 ・国会・内閣・裁判所や選挙に関する題材をさまざまなメディアを通して収集する。 d:民主主義のあり方について憲法等の政治制度を含めて理解するとともに，現代政治の特質について把握している。 ・人権を主張する際，時として「公共の福祉」が絡むことを理解する。 ・マス・メディアの果たす役割と問題点を理解し，世論の果たす役割が大きいことについて認識する。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

2学期		⑯国際関係と国際法 ⑰国際社会の組織化と変容 ⑱国際政治の動向 ⑲国際政治の課題 ⑳地球環境と資源エネルギー問題 ㉑地球市民社会における日本役割	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: ・ＮＧＯが国際政治に与える影響について，関心を高める。 b: ・民族紛争などを例に，複雑な国際関係を幅広い視点から考察する。 ・国際平和のために，日本が貢献できることは何かについて，さまざまな視点で考察する。 c: ・国際平和に関する問題について，さまざまなメディアを利用して調査する。 d: ・冷戦終結後の国際社会の動向について理解する。 ・国際連合の役割を理解する。また，現実には国際連合はどのような問題を抱えているのかについても把握する。 ・冷戦終結後の世界が，冷戦時代と比べてどのように変化したのかについて，意欲的に理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第2章　現代の経済	①資本主義経済の成立と発展 ②現代経済の特質 ③経済主体と経済の循環 ④生産の仕組みと企業 ⑤市場経済の機能と限界 ⑥国民所得と経済成長 ⑦金融のしくみと機能⑧財政のしくみと機能⑨経済再建から高度成長へ ⑩オイルショック後の日本経済 ⑪日本経済の現状 ⑫公害と環境保全 ⑬消費者問題 ⑭農業食糧問題 ⑮中小企業問題 ⑯雇用と労働問題 ⑰社会保障と福祉	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:経済の学習を通じて、世界的な視点で、自分の生活を見ることができるようになる。 b: ・経済の基本的な概念や経済理論の学習を通じて，現代経済の特質について考える。 ・日本の社会保障制度について現在の制度上の問題点と課題について考察する。 c: ・経済成長率の推移，景気変動などの資料，経済政策に関する資料などを利用して，日本経済の動向を調査する。 ・新聞記事などの資料を利用して調査する。 d:・資本主義経済の特徴を，社会主義経済の特徴と比較し理解する。 ・現代資本主義経済について基本的な事項を理解する。 ・財政の基本的なしくみや役割、日本の財政の現状について理解する。 ・金融機関をはじめ，日本経済が抱えている問題について認識する。 ・経済成長とともに人々の生活が豊かになる一方で，公害などの社会問題が発生したことを認識する。 ・労働基本権と労働三法を正しく把握した上で，最近の労働問題を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

3学期		⑱貿易と国際収支 ⑲経済対立と国際協調 ⑳発展途上国の経済㉑地域主義の動き ㉒グローバル化する世界経済	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:・ヒト，モノ，カネの国際的な移動が，世界経済に与える影響について，関心を高める。 ・円高・円安が，自分の生活にどのように影響するかについて関心をもつ。 b:・円とドルの為替相場について，日本企業の海外での現地生産を例に考察する。 ・深刻化している地球的規模の環境問題を直視し，どのように乗りこえるか考察する。 c:・グローバリゼーションと地域的経済統合について関心をもち，世界地図やインターネットなどを利用しながら具体的に考察する。 d:・国際協調のために，どのような国際機関が存在するか，把握する。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第3編　現代社会の諸課題	①少子高齢社会において社会保障はどうあるべきか ②どのようにして若者の労働環境を改善するか	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:・生活に関連する面を中心に関心を高め，意欲的に理解を深める態度を身につける。・対比する意見などをもとに，さまざまな意見・論調に積極的にふれる。 b:・現代の日本が抱える課題を，政治と経済との関連に留意しながら，さまざまな角度（視点）から考え，望ましい解決のあり方を考える。 c:簡単なレポートをもとにプレゼンテーションをする。 d:・政治と経済は密接に関連しており，互いに影響を与えていることを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		①地球環境問題にやさしいエネルギーをどう確保するか ②経済援助は貧困を削減できるか	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:・さまざまな観点から課題を追究する態度を身につける。 b:・身の回りの具体的な事例をもとに，地球環境問題などの世界的な諸問題について考察する。 c:簡単なレポートをもとに，ディベートなどを行ったりする。 d:・国際社会の課題は，政治・経済の枠をこえたものが多く，国際関係に大きな影響を与えることを認識する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。